

## 令和7年度 第2回九州森林管理局保護林管理委員会議事概要

1 日時 令和8年2月16日(月) 10:00~12:00

2 場所 九州森林管理局大会議室

### 3 議事

- (1) 令和7年度第1回保護林管理委員会等における意見概要と対応について
- (2) 重点的対策実施17保護林における取組について
- (3) 令和6年度保護林モニタリング調査実施保護林に係る管理方針書について
- (4) 令和7年度保護林モニタリング調査結果について
- (5) 令和7年度保護林モニタリング簡易調査結果について
- (6) 令和8年度保護林モニタリング調査実施箇所(案)について
- (7) その他

### 4 議事の概要及び主な意見

(1) 令和7年度第1回保護林管理委員会等における意見概要と対応について

九州森林管理局の対応方針及び市房3保護林(市房ツガ、市房モミ、市房ゴイシツバメシジミ)の統合・拡大に向けた検討状況について説明。委員からの主な意見は下記の通り。

・市房ゴイシツバメシジミ希少個体群保護林の周囲(北部と南部)は、拡張候補区域に入っていないが、ゴイシツバメシジミの生息環境を守るためには、林内の空中湿度を高く保つことが重要。保護林内の乾燥化を防ぐため、保護林周辺についても拡張候補区域に含めることはできないのか。

(2) 重点的対策実施17保護林における取組について

17保護林内に設置された植生保護柵の維持管理の状況や保護林モニタリング調査結果をふまえた保護柵の機能状況について説明。委員からの主な意見は下記の通り。

・大面積の保護柵を継続的に維持管理していくことは難しい。小面積の柵に作り替えていくことも検討してもらいたい。

・これまでの調査結果から、各保護林における適切な保護柵の数・面積を検証し、それに応じて柵の数を増やすあるいは減らすといった対応が必要。

(3) 令和6年度保護林モニタリング調査実施保護林に係る管理方針書について

第1回委員会での委員からの意見をふまえて修正した内容について説明。委員からの主な意見は下記の通り。

- ・ゴイシツバメシジミという種の存続がいかに危機的な状況にあるか、種を保全する上で市房・内大臣の保護林の保護がいかに重要かということに記載して欲しい。
- ・保護林のうち、関係団体が複数あるエリアについては、それぞれがどこに柵を設置しているのか省庁の垣根を越えて情報共有し、効果的なシカ対策に取り組んでもらいたい。

(4) 令和7年度保護林モニタリング調査結果について

令和7年度の調査結果の概要及び今後の保護管理の方針について説明。委員からの主な意見は下記の通り。

- ・カシノナガキクイムシ被害のある保護林について、必要に応じて対策を行うとしているが、天然林のカシノナガキクイムシ被害は対策しようがないのが実情なので、対応方針についてはそれを前提にした記載にするべき。
- ・高隈山生物群集保護林のモニタリング調査プロットのうち、調査の中止を検討している6プロットについては、治山事業施行箇所においても効果的に更新していくかどうかを把握するためにモニタリングを継続した可能性もある。もし調査を中止するのであればそういった更新が将来的に見込めるかといったことを検証していただきたい。また、代替プロットも併せて検討してもらいたい。

(5) 令和7年度保護林モニタリング簡易調査結果について

令和7年度の簡易調査の対象保護林について、林内の植生に大きな変化は見られず、シカ被害も見受けられなかったことを説明。

(6) 令和8年度保護林モニタリング調査実施箇所（案）について

令和8年度保護林モニタリング調査の実施計画について説明。

(7) その他

霧島山生物群集保護林内における砂防事業に伴う国有林の所管換について、砂防工事が周辺に生息するクマタカの繁殖に与える影響は想定されないことを説明。



保護林管理委員会議事の様子（令和8年2月16日）

《配布資料》

【議事次第・出席者名簿】

【資料1】令和7年度第1回保護林管理委員会等における意見概要と対応について

（別紙1）市房3保護林の統合・拡大の検討について

【資料2】重点的対策実施17保護林における植生保護柵の維持管理・機能状況等について

【資料3-1】管理方針書改訂のポイント

【資料3-2】令和6年度保護林モニタリング調査実施保護林に係る管理方針書（令和7年度第1回委員会意見反映版）

【資料3-3】令和6年度保護林モニタリング調査プロット図・植生保護柵位置図

【資料4-1】令和7年度保護林モニタリング調査結果（一覧表）

【資料4-2】令和7年度保護林モニタリング調査結果（概要）

【資料4-3】九州森林管理局保護林シカ被害レベル（令和7年度末時点）

【資料5】令和7年度保護林モニタリング簡易調査について

【資料6-1】令和8年度保護林モニタリング調査 調査箇所及び調査項目（案）

【資料6-2】保護林モニタリング調査計画一覧表（令和8年度）

【資料7】砂防事業に伴う国有林（保護林）の所管換について

【参考資料1】九州森林管理局保護林管理委員会運営要領

【参考資料2】保護林制度の改正について

【参考資料3】令和7年度第1回九州森林管理局保護林管理委員会議事概要

令和7年度 第2回九州森林管理局保護林管理委員会 出席者名簿

	氏名	所属・役職
委員	片山 歩美	九州大学農学部 准教授 福岡演習林長
	勝木 俊雄	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所長
	佐藤 美和子	株式会社佐藤木材 取締役
	鈴木 英治	鹿児島大学 国際島嶼教育研究センター 特任教授
	千吉良 治	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター 九州育種場 育種課長
	藤掛 一郎	宮崎大学農学部 教授
	山川 博美	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所 森林生態系研究グループ 主任研究員
	横山 隆一	公益財団法人 日本自然保護協会 参与 オリ根自然センター代表
九州森林管理局	眞城 英一	局長
	池田 秀明	計画保全部長
	山下 広	計画課長
	濱本 敬士	〃 経営計画官
	岡田 和也	〃 生態系保全係
	飯星 明	保全課 野生鳥獣管理指導官
受託者	中園 朝子	㈱九州自然環境研究所 所長
	城戸 美智子	〃 主担当技術者
	永野 春菜	〃 副担当技術者

(委員50音順、敬称略)